

第 3 回 空港内の施設の維持管理等に係る検討委員会 議 事 概 要

日 時：平成 25 年 5 月 29 日（水）15:00～17:00

場 所：経済産業省別館 10 階 1031 号会議室

事務局より、本格的な PDCA サイクルへの移行に向けた検討を行うため、現状の基本施設等のライフサイクル（設計～改良）、点検及び材料技術等の現状及び技術開発について説明し、意見交換を行ったところ、下記の意見があった。

- ◆ 全体の建設システムの中での位置づけ
 - ・ 新しく施設を作る場合には、維持管理の容易さについても考慮するといったように、維持管理を施設の設計の段階から考慮すべき。
- ◆ PDCA サイクルについて
 - ・ PDCA サイクルについては、2 つの PDCA サイクルを念頭に置く必要がある。1 つは配付資料で説明されている一連の業務を対象とする定常的・ルーチンワーク的なもの。これに加え、この PDCA サイクルそのものについて、点検結果等を踏まえた改善を行うという上位の PDCA サイクルが必要。これにより、業務実施プロセスをスパイラルアップしていくことが重要。
- ◆ 評価基準について
 - ・ PRI 評価については、新たな知見の蓄積による改善が望まれる。
- ◆ 時間的制約について
 - ・ 確実なメンテナンス工事を実施するために技術開発を進める一方で、必要十分な作業時間の確保方策についても議論の対象として頂きたい。
- ◆ 点検データの公表について
 - ・ 点検データについて積極的に公表を推進すべき。これにより皆のものは皆で守るという意識も生まれる。
- ◆ 排水施設のモニタリング
 - ・ 地中に設置された排水施設については、正確なモニタリングが重要であるが、センサーによるモニタリング、サンプリングによるチェック等について、検討を進めて頂きたい。